

## 平成17年度幹部職員民間企業派遣研修の結果と その後の職場での実践について

### 1. 研修期間と参加人員

- 平成17年6月～11月の間で各1ヶ月

(研修参加人員)

東陶機器(株)滋賀工場	2名
甲西陸運(株)	7名
三菱自動車(株)滋賀工場	3名
(株)シンコーメタリコン	3名
カルビー湖南(株)	3名
(株)やまじょう	2名
合 計	20名

### 2. 研修報告のまとめ

今回の幹部職員民間企業派遣研修に参加した課長職20名を対象に、研修後の報告書の提出求め、その結果をまとめました。

#### 【研修の成果を生かし現職場等で実践していること】

- ・職務上において、ムダを発見し事務手順を見直し、改善につなげている。
- ・職員に対し、常に声をかけ、語り合いのきっかけ(コミュニケーション)づくりに努めている。
- ・自らが行動、考えられる力を付けられるようなアドバイスを行うことに努めている。
- ・毎朝(日)ミーティングを実施している。
- ・報告、連絡、相談、を密にするよう指導している。
- ・創意工夫、整理整頓、自己啓発の実践指導をしている。
- ・業務上の問題、課題等については、担当者個人がストレスを抱えないように課内の課題として取り組み、話し合いを行っている。

#### 【研修に対する意見】

- ・研修までに企業と共通認識と共通理解をして研修できるよう何回か打合せ会を持つてはどうか。
- ・他の市町村への派遣や自治大学校や市町村アカデミーでの研修などステップを踏んだ上で行うべきだと思う。
- ・研修成果を長く市政に反映させるには若年層がよいのでは。

- ・研修先企業の適正な選択、研修目的の明確化など協議する必要がある。
- ・企業において「ものづくり」への熱意や品質管理の取り組み姿勢など言葉だけでなく、肌で感じる事が重要であると感じた。
- ・この研修自体を今後も続ける意義はある。
- ・行政と民間の雰囲気の違いやシステムの違いを学ぶだけでも成果はあると思うので、引き続きやればよい。
- ・高齢者や福祉施設の現場研修により、支援を必要とする人たちの現場を見ることも大事だと考える。また、対象者も主幹または主査クラスが妥当と考える。

#### 【まとめとして】

- ・今回の研修は、行政職員が民間企業の考えや取り組みを肌で感じ理解し、それを公務に生かす機会として大変貴重な経験となり、日々の業務のなかでのコスト意識が培養された。また、目に見える成果を早急には期待できないが、幹部職員の意識改革は図れた。今後においても、民間企業の経営理念、事業活動等を体験することにより、職員の意識改革と資質向上、また、幅広い視野と柔軟な発想に立った効率的な行政施策を推進すべき人材の育成を目的として平成17年度の実施を試験的として、さらに対象職員や期間等内容検討をし、続けていくべきである。

#### 3．市長の感想

- ・職員を束ねる立場の課長級職員が、異文化に触発され、新しい取り組みを自発的に始めていることを嬉しく、また心強く感じている。合併後、市民に信頼される市役所としての第一歩が踏み出せたと思う。研修に協力いただいた各企業には深甚の感謝を申し上げる。

#### 4．今後の取り組み

- ・課長級の民間企業派遣研修は、管理職のマネジメント能力を高めるために今後も継続していく。
- ・6月議会で成立した条例（障がいのある人が地域でいきいきと生活できるための自立支援に関する湖南省条例）に基づき、福祉施設などにおける研修にも積極的に取り組んでいきたい。